

えがお大東っ子 第34号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranooosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyl/egaodaitoukko/>

小中連携教育の推進 —9年間を見据えた教育の取組み—

大東市では、大東市教育ビジョン後期基本計画のもと、確かな学力の向上をめざすため、小・中学校が力を合わせた授業方法の工夫改善等、全中学校区が研究テーマを決めて取り組んでいる小中連携の推進について報告します。また、前号でもお伝えしましたとおり、来年度より小中連携教育をさらに深化させ、「大東ならではの」の小中一貫教育モデル校区事業（北条中学校区）も始まります。

深野・諸福中学校区

特別支援教育の視点を取り入れた授業方法改善の取組み

すべての子どもたちにとって分かりやすい授業（ユニバーサルデザイン）をめざして、学習環境や指導方法を工夫しています。小中合同研修会や小中交流研修授業を行い、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりについて共通の視点で話し合っています。



小中合同研修会の様子

四条・北条中学校区

アクセプラン：6年生の中学校登校の取組み

9年間で子どもを育てるという共通認識のもと、小学校6年生から中学校1年生へスムーズな移行ができることをめざし、6年生が中学校へ登校し、授業やクラブ活動などを体験しました。中学校入学への不安解消と期待や意欲の向上等、多くの成果ができています。



6年生中学校登校の様子

南郷・住道・谷川中学校区

道徳教育の充実に向けた授業改善の取組み

道徳教育充実に向け、小中合同研修会や大学の先生による模範授業をもとに、道徳の授業改善に取り組んでいます。各中学校区で、小中の教員が道徳の進め方や方向性について共有し、小中一貫した「道徳性の育成」をめざしています。



小中合同道徳研修会の様子

大東中学校区

班活動等を活用した『集団づくり』の取組み

小中統一した集団づくりで小中の段差解消をめざし、班ノート、班づくえ、班長会等の班活動を工夫しています。合同研修会で中学校における集団づくりを意識した講演を行い、班活動等を取り入れた集団づくりについて共通の視点で話し合っています。



小中合同授業改善研修会の様子

大東市立小学校連合音楽会

—大東市小学校教育研究会主催—

平成28年11月30日（水）、サーティホールで市内12小学校による、第36回大東市立小学校連合音楽会が行われました。各校の代表で出場した4年生・5年生・6年生の児童が、それぞれ合唱や合奏など、練習の成果を発表しました。

大東市小学校教育研究会会長の南郷小学校 生駒 吉美 校長が、おわりのことばで「子どもたちがひたむきに、一生懸命、全身で歌っている姿に感動しました。」と感想を話しておられたように、鑑賞者の心を震わせるすばらしい発表会となりました。



大東市情報モラル学習教室

多くの家庭でネットが普及し、街中のWi-Fi利用エリアも増えてきた現在では、さまざまなネット端末機で情報交換する子どもたちが増えてきました。特にポータブルゲーム機や携帯音楽プレイヤーでもコメントのやり取りができるため、友だちと遊ぶ予定を話し合うときにもネット端末を利用しています。また、小・中学生のスマートフォン所持率も年々増加し、ネット利用も低年齢化しています。しかしながら、自由に端末を使用している子どもは危険性を意識できていません。

大東市では、一般社団法人ソーシャルメディア研究会の協力のもと市内全小・中学校で情報モラル学習教室を実施し、子どもたちへの啓発を進めています。

大人のネット利用は、仕事や生活に直結する部分も多く、特定の操作に限られることもありますが、子どもたちのネット利用方法は日々変わり続けています。それは大人の知らないような情報交換の場であり、私たち大人の想像をはるかに超える利用方法です。



ご家庭でも、発達段階に応じた「利用のルール決め」を行うなど、悪意のある人物からの声かけなど被害にあわないよう、また、無意識のうちに加害者にならないよう子どもたちの利用状況を把握し、危険性を伝えていただきたいと思います。



大東市ニュースポーツフェスティバル

みんなで
体験しませんか

障害者の社会参加の促進と生涯スポーツの推進をめざし、子どもから高齢者まで、誰もが参加できるスポーツの祭典を開催します。

第1部では、障害者スポーツ「車椅子ツインバスケットボール」のデモンストレーションを行います。競技の説明を聞きながら模範演技を見ていただき、その後、体験することもできます。

第2部は、ニュースポーツの紹介と体験コーナーです。カローリング、ショートテニス、シャッフルボード、ボッチャなどの他にも楽しいニュースポーツがいっぱい!!

技術やルールが簡単なので、みんなで一緒に参加してニュースポーツを楽しみましょう。

- ・日 時：平成29年3月11日（土）
午後1時から
- ・場 所：大東市立市民体育館
- ・持ち物：体育館シューズ持参
※水分補給は各自でお願いします。
- ・参加費：無料



地域ファミリースポーツ中央大会

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのカローリングとキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいはいかがでしょうか？

- ・日 時：平成29年3月5日（日）午前9時30分から
- ・場 所：大東市立市民体育館
- ・種 目：カローリング、キンボール、ボール de ビンゴ
- ・持ち物：体育館シューズ持参
※水分補給は各自でお願いします。



授業づくりの今とこれから

～連載④ 今、求められている授業 アクティブ・ラーニングとは～

大東市が取り組んできた「学び合う」授業づくりが次期学習指導要領にもある「アクティブ・ラーニングの視点」に通じることは、すでにお話しました。実際、各校が取り組んできた「学び合う」授業づくりの成果は、子どもたちの姿となって表れています。

例えば、ある中学校では、体育の授業中、みんなでめあてをクリアし、「できた」という喜びを共有できるよう、教員による指導のもと、子どもどうしでの的確なアドバイスや意見交流を通して互いを高め合っていました。また、ある小学校では、学習班（4人）で意見や考えを発表・交流する中で、相手の意見の良さを見つけ、自然と拍手がうまれる場面が見られました。もちろん、他の小・中学校でも同じように豊かな人間関係を育みながら、各教科の目標を達成することをめざしています。

このような積み重ねをふまえて、今後、子どもたちが主体的に学習に取り組み、「学びの質」をより高められるよう、市として一層の授業改善を進めたいと考えています。引き続き保護者の方々のご協力をよろしくお願いいたします。

家庭教育支援チーム活動のご紹介

「おうちの方が元気になる！ 笑顔あふれる家庭教育の充実をめざして」



☆「いくカフェ」を開催しました！

保護者の皆さまが家庭で安心して子育てや教育ができるよう、家庭教育の充実に向けた活動として、市内全小学校区12ヶ所で「いくカフェ」を開催しました。11月19日～27日に開催した「いくカフェ」では、キッズスペースを設けるなど多くの保護者の皆さまにご来場いただけるようにし、お茶やお菓子を囲みながらリラックスしてお話することができました。

今後も「いくカフェ」を開催しますので、気軽にご参加ください。



☆ 家庭教育支援子育て講演会を開催します！

演題 『子どもを伸ばすハッピー子育て心理学』

～きょうからあなたは子どもにとってのなんちゃってカウンセラー～

保護者が子育ての悩みや不安を抱えて地域で孤立せず、家庭で安心して子育てや教育ができるよう、家庭教育の充実に向けた活動として子育て講演会を開催します。奮ってご参加ください。



- とき 平成29年2月10日（金）午後7時～9時
- ところ 市民会館2階キラリエホール
- 講師 水野 達朗
（一般社団法人 家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事）
- 対象 子育て中の保護者、子どもに関わる人
その他関心のある人

申込不要
入場無料

※心配ごと・困ったこと、どんなことでもお気軽にご相談ください。

大東市教育委員会 家庭教育支援グループへ TEL：072-800-7760（直通）

青少年指導員ってどんなひと？

～地域や校区で活躍する青少年指導員をご紹介します～

青少年指導員は、子ども達の健全育成や非行防止活動の推進役として、また、子ども達の良き相談相手として活躍している市民の皆さんです。親しみを込めて「青指（あおし、せいし）」とも呼ばれています。学校行事で白い帽子、青いジャンパーを着た方を見かけたことはありませんか？青少年指導員は、学校のお祭りでいか焼きなどの模擬店や、駐輪場の整理などの行事運営に協力したり、朝のあいさつ運動や、生徒会との懇談など、子ども達との交流を大切に、校区や学校ごとに様々な活動を行っています。昨年からは、市のチーム員として小学1年生、全世帯の家庭訪問を行ったり、「いくカフェ」を開催するなどの家庭教育支援事業にも取り組んでおり、これからますますの活躍が期待されます。地域の「青指」をぜひ応援してください。

